

消防団長紹介



河南町消防団 団長 西浦 亨

河南町は、大阪府の南東部に位置し、大阪市の中心部から25キロメートル圏にあります。町域は、東西6.7キロメートル、南北7.5キロメートルにひろがり、周囲が37.6キロメートル、面積は25.26平方キロメートルです。

北は太子町、西は富田林市、南は千早赤阪村と境を接し、東は葛城山脈の稜線が奈良県の葛城市、御所市に接しています。

河南町の地形は、金剛・葛城山脈に連なる山地部とその前面に広がる丘陵地、段丘地からなり、町域の3分の1の山地部が金剛生駒紀泉国定公園に指定されています。

また、古くから開けたこの地には、さまざまな古墳、遺跡などの文化財があり、自然と歴史に恵まれた緑豊かな文化の町です。

河南町消防団は、大正8年4月に消防団の前身である消防組が発足し、昭和31年に市町村合併に伴い発足しました。現在6つの分団をもって町内全域を管轄しています。当消防団の特徴は、団員構成が老若男女に幅広くわたっていることから、長年の経験に基づく知識・技術と若者の活力・体力が上手く合わさり、活動に反映されている点であります。

活動内容は、火災等の災害出動のほか災害時以外には定期的な巡回や各地区が主催する訓練等に参加し、常に地域住民との繋がりを大切に活動し、心をかけています。

また平成19年に発足した女性消防団は、子供向けの防火意識の啓蒙活動としてペープサート（紙人形劇）の上演や、応急手当指導員として救命講習の指導にあたり、応急手当の普及啓発活動及び住民の救命活動への意識向上に努めています。

このような活動を支えるため、大阪府消防操法訓練大会に出場して技術の練磨に励み、また日頃から訓練の実施や講習会等に参加することで常に新しい知識の習得及び技術の向上に日々努めています。

私自身は、昭和50年1月1日に入団、平成14年に班長、平成16年に分団長、平成19年に副団長を拝命、平成21年4月1日には河南町消防団8代目団長に就任しました。

消防団員に拝命された年の10月に開催された第19回大阪府消防操法訓練大会に1番員として出場し、準優勝したことが記憶に残っている出来事です。第18回までの操法訓練大会は、ほぼ全ての消防団が出場していましたが、第19回大会は各支部から代表1団が出場する形になった初めての大会でした。入団間もない時に、約半年間南河内地区支部の代表として厳しい練習を重ねた記憶が今も鮮明に残っています。

私ども消防団は、地域住民と一丸なり『大切な人、大切な町は自分たちで守る』ことができる町づくりを目指しています。災害時に地域住民の皆様が担う『自助』『共助』の部分少しでも助力できますよう、我々消防団も『郷土愛護の精神』のもと、団員一丸となって邁進する所存でありますので、今後ともご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。